

おいさん山形

漁民と手をつなく広報誌

No. **354**

令和2年 / **9**月号

山形県漁業協同組合
広報誌

念珠関総括支所

底

曳

網

漁

解禁



さかた総合市場



由良総括支所

9月に入っても、例年に比べ暑い毎日が続いています。そんな中、禁漁を終えた底曳船が各浜一斉に水揚げを始めました。

鮮度のいいヤナギ、クチボソ等のカレイ類をはじめ、高級魚であるノドグロなどが水揚げされ、浜には再び活気が戻ってきました。

庄内浜で獲れた新鮮な魚をよりたくさんの人に食べてもらうためにも、今後の操業安全と大漁をお祈りします。

県と水産漁業関係者との意見交換会開催

前号の
続き

6月9日(火) 底曳網漁業者

場所：漁協本所講堂

Q 庄内北前ガニのブランド化に伴い、冷水機が1台導入されたが、漁獲量によっては不足する可能性がある。漁業者が自ら導入したい場合に迅速に対応できる補助はあるか。

A 国の新リース制度が使えるので検討してほしい。(佐藤主幹)

Q 無線やリーダーの更新に支援をお願いしたい。国際規格に対応するためとはいえ、まだ使用できるものを取り換えるのは納得がいかない。他県では全額補助を受け更新したと聞いた。

A 水産多面的機能発揮対策事業の国境監視(補助率10/10)で更新したようだ。(佐藤指導課長)

A 全国的に補助を創設する動きにはなっていないのだろうか。状況を見て対応を考えたい。(佐藤主幹)

Q 新型コロナウイルスの影響により、魚価は安く経費は高む一方である。持続化給付金は一時しのぎに過ぎない。漁獲共済掛金に対する助成を行ってほしい。

A 以前県で補助を行ったがやめた経緯がある。一度やめたものを復活させることは難しいが、別の方法を考えたい。(佐藤主幹)

Q 鼠ヶ関に生け簀を設置したようだが、今後どうするのか。

A 広域浜プラン実証事業として、昨年度と今年度

の2か年で計画しているものである。今年度も生け簀を追加し、実証事業に取り組み予定としている。(佐藤指導課長)

Q 漁船保険について、機器を更新すると船体の保険料も上がり割高に感じる。

A 船体の評価額をどう見のかという問題ではないか。保険料が上がればその分、再調達価格(保険金額)も増えるので、そのバランスの問題であると考ええる。(佐藤指導課長)

Q 漁協本所の建て替えについて、県として何か考えているか。

A 漁協の考えを聞きながら考えていきたい。(佐藤主幹)

A 漁協では経営改善のコンサルタントに入っているが、計画を作っている。産地市場統一や重



油地下タンクへの対応など問題は山積している。(佐藤指導課長)

6月9日(火) 酒田・遊佐地区

場所：漁協本所講堂

Q 養殖を増やせば、天然物の価格が下がる。どちらに軸足を置いて進めていくのか。

A アブリコ(アブリコ)は、養殖は冬季や休漁期に出荷するものとして、住み分けが必要である。売り方については今後検討していきたい。(佐藤主幹)

Q 魚の消費拡大についてだが、学校給食に魚食を取り入れていただきたい。魚に親しみを持てるよう、お頭付きを提供してほしい。

A 学校給食には規格がある。尾頭付き、骨付きを生徒に



給食として提供することは難しく、PTA行事や課外授業での対応となるだろう。まずは切り身での普及を図っていききたい。(佐藤主幹)

Q 漁業のICT化とは何か。

A 漁業者が持つデータを共有できれば理想的だと考えるが、ハードルが高い。最上丸のデータを共有する方向で考えたい。(佐藤主幹)

8月7日(金) 小型イカ釣り漁業者

場所 漁協本所 会議室

Q イカ漁が悪い時に借りやすい融資制度があればありがたい。新型コロナウイルス感染症対策資金については要件が合わず借りることができなかった。イカ漁は、ある程度安定しているため様々な制度があっても要件を満たすことができないようだ。

A 「計画営漁推進資金」はいつでも使える。1年未満の短期ではあるが、つなぎ資金として活用していただきたい。また、県では不漁で運転資金の確保が難しい漁業者向けの無利子融資(漁業経営安定緊急対策資金)も始めた。要件は5中3と比較して売り上げが15%以上減少している場合で、償還期間は5年となっている。目的に応じて制度をうまく使い分けてほしい。(佐藤主幹)

Q スプリアス対応無線機は導入が必須だが、かなりの負担になる。補助していただきたい。

A 経営継続補助金で70件程度申請したが、申請書を作成する時間が限られていたため、メーカーを限定した。また、補助率3/4とはいえず、上限が100万なので足が出てしまう。中短波の無線機と機器だけで200万円するものもある。(佐藤指導課長)

県知事と漁業者との意見交換会

8月12日(金)山形県庁にて吉村知事、高橋農林水産部長他水産行政関係者と県内の主たる漁業を営む浜の代表者が集い、意見交換会が行われました。

吉村県知事

7月27日、28日と降り続いた大雨による被害が水産業関連にも出ている。また、その以前から新型コロナウイルス感染症で大変な影響を受けているところでもある。本日は皆様方から現場の实情をお聞きして、今後県がどういったことをやるべきか検討させていただきたい。

県漁協西村専務

山形県漁協は3つの地方卸売市場と、小さいながらも信用窓口を持っており、万が一職員や関係者に感染者が出た場合、市場や窓口を止めなければならぬということも考えられる。未経験な状況であるがゆえ、当漁協の理事会で対策を協議してもなかなかまとまらない。ぜひ県行政からは的確な指導とご対応をいただきたい。

県漁業無線協会 池田亀五郎会長

令和4年11月に電波法の改正で無線機等を入れ替える必要があるが、国の補助には100万円という上限があり、年齢や後継者の有無など国が定める条件に合わず、無線機の入替えができていない漁業者が出てきてしまう。県からの支援をお願いしたい。

高橋農林水産部長

無線の更新については、1件ごとの投資額が大きい。まずは、北朝鮮との遭遇が多い中型イカ釣り船への支援を先行で始めたところである。今後、国の支援制度を受けられることができない漁業者に対して、県の予算を検討したいので意見を聞きながら対応を考えていきたい。

県水難救済会 飯塚厚司会長

救助の迅速性を図るため、ジェットスキーの配備を検討していただきたい。鶴岡市消防本部が1台保有しているが、海に運ぶまで時間がかかり、迅速性に欠ける。県の支援で浜に配備をお願いしたい。

吉村県知事

人命にかかわることなので、どういったことができるのかぜひ話し合いの場を設けていきたい。



会の締めくくりには、吉村知事から「どんなことがあっても一次産業は強い。どうやって継続していくか、仕組みを考えながら前向きに進んでいき水産業が発展していくように今後とも皆様と一緒に手を携えて頑張っていきたい。」と力強いお言葉をいただきました。混迷が続く水産業界ですが、今回の意見交換会が、明るい未来への第一歩となることを期待します。

県庁水産振興課 課長補佐 板本 健児

サケの季節到来

サケ(シロザケ)は秋の庄内浜の代表的な魚です。最上川の上流で産卵する群れが、高値が付く「銀毛サケ」として早い時期に水揚げされ始め、11月下旬にピークを迎えます。由良漁港を中心に定置網で大半が水揚げされますが、地元で消費されるのは1割程度で、2割が新潟県へ、残り7割は加工品原料や輸出品になります。もったいないようですが、どうしても生まれた川に近い所で漁獲されると、皮が厚く、体も黒くなり、赤や黄色が部分的に出てくる「ブナ鮭」が多くなるためです。

サケで最も高値なのは「鮭児(けいじ)」と呼ばれる、その年は成熟しないアムール川由来の若いサケで、オホーツク沿岸で1万尾に1尾混じるくらい希少なサケです。次は「トキシラズ」で北海道で5〜7月に脂の乗った状態で漁獲される、その年に成熟するもの。また、北海道で「メジカ」と呼ばれる大型の「銀毛サケ」も高級品とされていますが、これは本県の月光川に由来すると言われています。由良市場では、シーズン終わり頃の大型で少し黄色や赤色が出て、身に赤みがあるものがおいしいとされ、高値が付くと聞いています。

さて、厳しい残暑が続いていますが、今年もサケの戻ってくる時期が近づいてきました。山形県の川から海に下った稚魚は北を目指し、エサを食べて成長しながら北海道沿岸を通り、オホ

ツク海に出ます。そこからペーリング海までの片道でも4千キロ以上の旅を続け、豊かな北の海の恵みを受けて大きく成長し、そして、4年後にはまた逆のコースをたどって生まれた川に戻ってきます。

どうやって戻ってくるのかは、地磁気や太陽を使って方位を判断することや目で見えた記憶も利用しているらしいこと、優れた嗅覚で生まれた川の臭いを覚えていくというような仮説や推定の域を出なかつた生体で、調査機材や分析方法の発達により、少しずつです

が解明されてきています。何千キロもの旅を続けて庄内浜に帰ってくるサケを季節の味として楽しみにしている方も多いと思います。養殖のサーモンやベニザケに比べて身の色が良くないとか、若い人にはあまり人氣が無いようですが、縄文時代から日本人に親しまれてきた、どんな料理にも合う魚ですので、「長旅お疲れさま。」の感謝をこめて旬の味を楽しみたいと思います。



昨年Fish-1グランプリを獲得した「庄内浜産おさしみ鮭とイクラ漬け丼」

庄内総合支庁水産振興課
専門水産普及指導員

忠鉢

孝明

日本漁船保険組合山形県支所 運営委員 新体制の紹介

【運営委員】

任期 令和3年5月31日まで

- 運営委員長 伊原 光臣
- 運営委員 飯塚 厚司
- 運営委員 本間 元幸
- 運営委員 榎本 敏明(新任)
- 運営委員 本間 昭志
- 運営委員 和田 均
- 運営委員 田代 善幸(新任)
- 運営委員 鈴木 徳正(新任)
- 運営委員 池田 薫
- 運営委員 齋藤 辰幸

【辞任】

- 運営委員 佐藤 清八郎
- 運営委員 池田 亀五郎



海の羽募金

ご協力ありがとうございました。

7月に実施しました「海の羽根」募金活動にご協力いただき大変ありがとうございました。

おかげさまで、9月1日現在の募金結果は754,376円となりました。(県漁協内での募金総額は12,327円)この募金を活用し、清掃活動を行っていただいた団体に助成させていただきます。

豊かな山形県の海を守るため、引き続き皆様からのご協力をよろしくお願いいたします。



未来につなげよう
青い海と
美しい渚

庄内総合支庁
水産振興課内
山形県海と渚
環境美化推進協会
事務局 担当：池田



8月1日(土)、事前に申し込んでいただいた50名を対象に「お魚放流体験in庄内浜」を吹浦漁港で開催しました。

トラフグは、15年ほど前から漁獲量が増加傾向にあります。県民への認知度は低く、地元でトラフグが水揚げされることを知らない方も多いのが現状です。県では2016年から「食の都庄内天然とらふぐキャンペーン」を通じて、新たな冬の観光資源としてのPRを始め、トラフグを始めとする水産物の県内消費拡大、特産品化を目指しています。また、資源の維持・増大のため地元漁業者が毎年トラフグ稚魚の放流活動に取り組んでいます。

このような取り組みを、より多くの方に知っていただきたいと考え、県と県漁業協同組合では一般の方にも放流を体験していただきました。

参加された方々には、この体験を通して水産業に関心を持っていただければ幸いです。

庄内水産振興課 水産業普及指導員 齋藤 祥司



理事会情報

令和2年度 第3回 理事会議案

開催日…令和2年6月20日(土)
場 所…本所 第一会議室

【協議事項】

- 1 代表理事組合長及び専務理事の選任について
- 2 関係団体運営委員会及び各種内部委員会等の委員選任について
- 3 参事の解任について

令和2年度 第4回 理事会議案

開催日…令和2年7月14日(火)
場 所…本所 第一会議室

【協議事項】

- 1 令和2年度における理事の報酬(案)について
- 2 役員退任慰労金について
- 3 行政庁に提出する業務報告書及び事業計画書について
- 4 2020年度全漁連賦課金、監査負担金等納入について
- 5 理事会招集者の順位(案)について
- 6 理事の購買限度額設定について
- 7 理事の利益相反行為に該当する貸付金の審議について
- 8 JFマリンバンクコロナ対策長期資金の制定について
- 9 新規及び現取引先に係る販売売掛金与信極度額設定及び変更(案)について
- 10 販売売掛金与信極度額設定基準の一部変更(案)について
- 11 令和2年度指導事業賦課金徴収方法及び時期(案)について
- 12 令和元年度デイスクロージャー誌(案)の発行について

【報告事項】

- 1 経営課題に関する分析・調査報告書について
- 2 令和2年6月末現在における収支状況について
- 3 令和2年6月末現在における貸付金

の状況について
令和2年6月末現在における資金運用状況について

コンプライアンス推進委員会の開催について

令和2年度第1四半期の「庄内海丸」の収支について

令和2年度第1四半期における販売促進活動について

組合員脱退に伴う出資金の払い戻しについて

組合員の加入・脱退について

人事異動の内示について

その他

令和2年度 第5回 理事会議案

開催日…令和2年9月15日(火)
場 所…本所 第一会議室

【協議事項】

- 1 令和2年8月末現在の収支状況について
- 2 指名業者選定審査会設置要領の一部変更について
- 3 組合員資格審査委員会の承認について
- 4 貸付金の審議について
- 5 KHL(協同住宅ローン)保証住宅ローン等融資要領の制定について
- 6 共同漁業権漁場における小型定置網漁業及び刺網漁業の制限に関する公示について
- 7 令和2年度さげ網化事業にかかる協力金の徴収について
- 8 共同漁業権行使料の徴収方法及び時期について

【報告事項】

- 1 役員賠償責任保険の更新について
- 2 豊浦支所水産荷捌施設入札会の報告について
- 3 令和2年度「みな貯金推進運動キャンペーン」期間中の定期貯金の上乗せ金利について
- 4 貸付金利率の改定について
- 5 令和2年度内部監査結果について
- 6 組合員の加入・脱退について
- 7 その他

本誌、令和2年7月号、No.353号に掲載しております記事、右 p.4下段 新役員 正) 理事 飯塚 厚司 再任
誤) 理事 飯塚 厚司 新任

9月は 船員労働安全衛生月間です

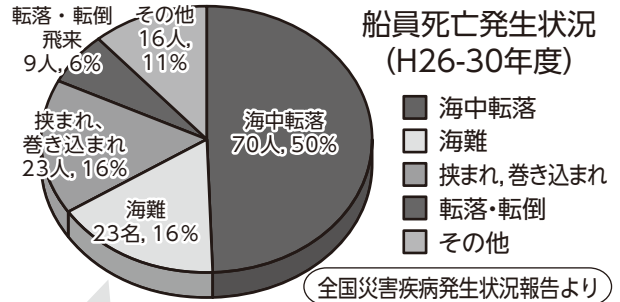
船員労働安全衛生月間は、船舶所有者及び船員の自主的な安全衛生活動の促進により、船内における安全で快適な作業環境と居住環境を実現し、船員の労働災害を防止するため、国土交通省、水産庁が主唱し、船員災害防止協会の協賛のもと、毎年、全国的に実施しているもので、今年で64回目となります。

安全は 一人一人の 積み重ね 船員みんなで ワンチーム

今年度の重点事項

- ① 作業時を中心とした死傷災害防止対策
- ② 海中転落・海難による死亡災害防止対策
- ③ 漁船における死傷災害対策
- ④ 年齢構成を踏まえた死傷災害及び疾病対策
- ⑤ パワー・ハラスメントの防止とメンタルヘルスの確保
- ⑥ 生活習慣病等の疾病防止対策
- ⑦ 船員の受動喫煙防止対策

皆さんの船舶でも、船内の安全衛生設備の点検を行うとともに、乗組員全員で安全衛生について話し合うなど災害、疾病の撲滅に積極的に取り組みましょう。



5年間で死亡者総数141名。なかでも海中転落が50%と最も多く発生しています。特に漁船での発生が多く、その原因は「荒天時、波にさらわれた」、「単独での作業中の転落」等、多岐にわたります。

漁労作業中は「救命胴衣の着用」、「荒天時の操業は控える」、「暴露甲板上で単独作業を行わない」などの安全対策を講じましょう。

東北運輸局山形運輸支局 (TEL 0234-22-0084)

灯油宅配

推進運動展開中

粗品プレゼント

冬の暖房は断然 灯油がオトク

灯油の配達は
 漁協で安心・納得

お近くの支所・出張所にお気軽にお電話下さい。

吹浦支所 ☎ 0234-77-2501	加茂出張所 ☎ 0235-33-3328	温海出張所 ☎ 0235-43-3434
飛島支所 ☎ 0234-95-2014	由良総括支所 ☎ 0235-73-3011	念珠関総括支所 ☎ 0235-44-2100
さかた総合市場 ☎ 0234-24-5617	豊浦支所 ☎ 0235-73-3006	

JF 山形県漁業協同組合

水揚情報

令和2年8月31日現在


(単位：千円)

区分	支所別	水揚合計	水揚地内訳							
			吹浦	飛島	酒田	加茂	由良	豊浦	温海	念珠関
7月末迄水揚累計		756,434	26,640	23,767	342,908	44,599	69,818	42,716	10,732	195,254
月間水揚	県内船水揚	150,857	5,284	13,364	76,013	10,424	17,050	7,194	3,829	17,699
	県外船水揚	168,036	0	0	168,036	0	0	0	0	0
	合計	318,893	5,284	13,364	244,049	10,424	17,050	7,194	3,829	17,699
前年同月水揚		247,864	9,755	6,949	162,775	13,192	14,448	12,342	3,233	25,170
本年度水揚	県内船水揚	651,305	31,924	37,131	218,633	55,023	86,868	49,910	14,561	157,255
	県外船水揚	424,022	0	0	368,324	0	0	0	0	55,698
	合計	1,075,327	31,924	37,131	586,957	55,023	86,868	49,910	14,561	212,953
前年度水揚累計		818,161	44,336	31,063	314,842	69,000	99,039	68,093	21,056	170,732
増減		257,166	-12,412	6,068	272,115	-13,977	-12,171	-18,183	-6,495	42,221
本年度水揚計画		2,680,000	99,000	84,000	1,362,000	138,000	285,000	173,000	35,000	504,000
達成率		40.1%	32.2%	44.2%	43.0%	39.8%	30.4%	28.8%	41.6%	42.2%

今あがっている魚

- 8月のベストテン -

前年対比 増↗ 減↘ 変らず→

水揚金額 (千円)			漁獲量 (kg)			
1	するめいか	229,027 ↗	1	するめいか	330,950 ↗	 <p>月間MVP</p>
2	かき貝	13,539 ↘	2	べにずわい	45,150 ↘	
3	た い	12,547 ↘	3	た い	20,220 ↘	
4	さ ざ え	8,755 ↗	4	さ ざ え	20,062 ↗	
5	あ ま だ い	7,041 ↗	5	か き 貝	17,108 ↘	
6	べにずわい	6,321 ↘	6	その他のばい類	10,610 ↗	
7	つ ば い	3,937 ↘	7	あ ま だ い	5,922 ↗	
8	その他のばい類	3,715 ↗	8	つ ば い	3,914 ↘	
9	め ば る 類	2,921 ↗	9	め ば る 類	2,509 ↗	
10	さ わ ら	1,002 ↘	10	ぶり・いなだ	2,255 ↘	

「すいさん山形」は組合員皆様方と様々な情報や話題を共有し、愛される広報誌づくりを心掛けております。今後もご意見・情報等ご提供くださいますようお願いいたします。

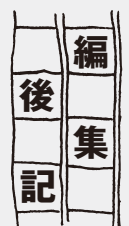
全国漁業信用基金協会山形支所

副所長 芝田 秀樹

● 今月号に掲載されておりますが、9月に入り、底曳網漁が解禁されたことにより、庄内浜にも活気が戻ってきました。今後の操業の安全と大漁、そして、浜が多くの人の笑顔で溢れることを心よりお祈り申し上げます。

● いまだ終息の気配が見えない新型コロナウイルス。予防には手洗いや咳エチケットが推奨されていますが、それらに加え、ウイルスから身を守るために、「運動」が効果的であると言われております。あわせて、「睡眠・食事」や「笑顔」も免疫力を高めるためには大切であります。ストレスが溜まると感染症への抵抗力が弱まります。心の健康にも留意しながら、ウイルスを寄せつけないよう免疫力を高めていきましょう。

● 早いもので今年もあと3ヶ月余りとなりました。9月は別名「長月」と呼ばれておりますが、「夜長月」と呼ばれていたものが短くなり「長月」に転じたのが最も有力だとされております。秋分を過ぎて日が短くなり、夜がだんだんと長くなっていく様子を表しているそうですが、一日のうちでの気温差に注意が必要な時季でもあります。体調管理には細心の注意を払っていきたくところです。



2020.9.14~12.15

秋の旬の魚 キャンペーン 2020



種類豊富な庄内浜の魚。内陸でも、もっと知って・食べてもらおうと、庄内浜の魚消費拡大総合プロジェクト推進本部では、秋の旬の魚キャンペーンを実施中です。庄内浜の魚を扱う飲食店「やまがた庄内浜の魚応援店」でのスタンプラリーやスーパーマーケットでの販売強化に加えて、「おうちで庄内浜のおさかなごはんキャンペーン」と題し、フェイスブック「やまがたさかなナビ」に料理の写真を投稿してもらうキャンペーンを実施しています。

県庁水産振興課 水産加工・流通主査 鹿間 麻里江



由良水産加工場では あなたを必要と しています

学校給食等の水産加工品の
需要が急増しているため、
大忙しの由良水産加工場を
手伝ってくださる方を
探しています。



【勤務地】山形県漁協 由良水産加工場

【待遇】◇時給 793円～(要相談)

◇勤務期間及び勤務時間

平日8:30～17:30

(土日祝休み)のうちで

要相談。短期の方も

大歓迎です。

◇仕事の内容

水産加工全般

【その他】自車通勤可能な方優遇します



元気で明るい浜の母ちゃん!!
空いた時間を使って、加工場で活躍してみませんか?
包丁さばきが苦手な方も大歓迎です!ぜひご応募ください!

お問い合わせ先：山形県漁協由良水産加工場

0235-73-3722 (担当：本間)



乗組員募集

所在地	北海道根室市 石垣漁業(株) 第86若潮丸 199トン 船凍中型イカ釣り漁業
水揚港	酒田港 さかた総合市場等
職種	司厨長、甲板員、機関員
最低保証額	300,000円 他、水揚げ金額に応じ配当金があります。
雇用期間	6月～12月
保険	雇用期間中は船員保険加入
資格取得等	当社で長く働いて頂ける方であれば、機関、甲板、無線通信士等の海技免状取得についても相談いたします。

当社の第86若潮丸は日本海を主漁場に北海道東海域、八戸海域でスルメイカを漁獲しております。

インドネシア共和国からの漁業実習生も乗船しており、未経験者でも他人に負けないやる気のある方であれば大歓迎です。

あなたも大海原を職場にしてみませんか。

連絡先 0234-24-5612 土田

漁業後継者不足、コロナ禍により外国人技能実習生の入国が出来ずにあります。乗組員が不足する事態を打開するため募集広告を掲載する事となりました。企業様の独自広告は原則有料とさせていただきますが、広報誌への広告、イベント紹介等、紙面の有効活用についても皆様と共に推進して参ります。